

センター長よりご挨拶申し上げます

九州大学病院きらめきプロジェクト 第11回スタッフ発表会

日時 **令和3年3月10日(水)~12日(金)**
11:00~16:00 ※11日12日はポスター
掲示のみ行います。

会場 **九州大学病院 外来診療棟 2階ギャラリー**

九州大学病院きらめきプロジェクト
スタッフによる1年間の活動報告を
ポスターでご紹介いたします。
仕事とプライベートの両立を
どのように行ってきたかなど、
医師、歯科医師の奮闘ぶりをご覧ください。

主催

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト
TEL/FAX : 092-642-5203
MAIL : kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp



新年明けましておめでとうございます。
2019年11月よりきらめきプロジェクトを包含しております臨床教育研修センターセンター長の新納宏昭です。

このプログラムですが、キャリアを継続し発展させたいと望む医師・歯科医師が、原則3年間非常勤職として九州大学病院で勤務できる制度です。2007年9月から2009年度は文部科学省大学改革推進事業「女性医療人きらめきプロジェクト」として施行され、2010年度より2019年10月まで九州大学病院きらめきプロジェクトとして大学病院独自の予算で継続され、2019年11月からは臨床教育研修センターが、医師・歯科医師の初期・後期研修に加えて、3番目のキャリア継続研修という意味でのきらめきプロジェクトをとりおこなっています。

これまで、水田祥代教授、樗木晶子教授、加藤聖子教授が尽力され、全国的に「女性医療人支援のさきがけ」として今では知られています。実績として、13年間に所属した医師・歯科医師は132人にのぼり、そのうち53名が常勤復帰しました。また、博士号や専門医などの資格を所得した割合も30%以上と高く、アカデミアならではのキャリア継続といえます。これらの実績は高く評価され、2020年11月には福岡県男女共同参画表彰を受けました。

今後の課題として、女性医師の常勤への復帰が定着した一方で、九州大学病院の現状では、女性医師の比率は、後期研修医で45%、医員で28%、助教以上では14%と減少し、講師・准教授・教授は各1名ずつと、未だに上位職に女性医師が占める割合は少ないです。今後は継続のみならず、キャリアアップへのさらなる支援策が必要と考えています。また、今年度は男性2名がきらめきプロジェクトに採用されました。今までは男性医師の支援も掲げながらもなかなか実現しなかった本プロジェクトですが、「男女共同参画社会」の実現を目指して、さらに大きく発展していく予感がします。

これからも、男女ともにキャリアを継続、アップできるように支援していけたらと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX : 092-642-5203

M A I L : kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

U R L : <https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/>



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します。

卒後10年目の皮膚科医です。内科医の夫と8歳、5歳、3歳の子供達の5人家族で、毎日賑やかで慌ただしい日々を送っています。

卒業後、初期研修の間に出産と産休をはさみ3年かけて修了し、その後皮膚科に入局しました。大学院に進学し、ここでも出産と休学をはさみつつ5年かけて学位を取得、昨年3月に卒業しました。卒業後は大学病院にて臨床業務に従事したいと思い、きらめきプロジェクトに応募しました。大学院生の時に医局や大学の先輩から様子を聞いて、集まりにも参加させていただいたのですが、その時感じた和やかな雰囲気や、限られた時間で勤務される先生方を応援するスタッフの方々の優しさと頼もしさも応募の決め手になりました。

現在は大学での午前中の外来業務と外勤、あわせて週に3-4日働いています。短時間勤務でゆとりがあるため、突発的な出来事（子供の発熱や休校）にも対応しやすく、自分自身の心の安定にもつながっていると思います。毎週木曜日は午前中大学病院→午後外勤→17時から大学カンファと帰宅が遅くなるため、シッターさんに来ていただき、お迎えや公園遊び、夕食やお風呂のお世話をさせていただいています。論文作成まではなかなか手がまわらないため、自分の時間を確保するために家事をどれだけ機嫌よくこなせるかということに注力しています。便利な調理家電は手放せないアイテムです。

今後は臨床経験を積み、来年度専門医を取得したいと思っています。こうして前向きに目標を立てられるのも、サポートしてくださる先生やコメディカルスタッフ、きらめきプロジェクトに関わる方々、家族のお陰だと思ひ、日々感謝です。ゆっくり少しずつですが、自分が成長することで患者様や周りの皆様に貢献できればと思っています。



秘密兵器！！

卒後11年目の医師です。きらめきプロジェクトには2020年4月よりお世話になっています。

外科専門医を取得後、大学院に所属していた卒後9年目に結婚し、現在第1子を妊娠中です。大学生の頃から持病の治療で自己注射が必要でしたが、当直やオンコール、緊急手術と多忙な日々ながらもやりがいを感じて仕事を続けてきました。しかし自身の治療と仕事の両立に体力的な限界を感じ始めた時期に大学院入学、1年目は市中病院に勤務しながら夕方以降の講義を聴講、2年目より大学病院の医員として研究や治験に携わりながら、外勤と大学当直含め月8~9回の当直、その他臨時の外勤対応を行っていました。そんな日々の中で、恥ずかしながら診療途中に倒れてしまい、これは働き方を変えなければ身体がもたないと実感し、ライフワークバランスを見直し始めました。その翌年に結婚し、しばらくはペースを変えず仕事を続けていましたが、妊娠を希望していたこともあり、持病のコントロールと仕事と妊活の両立は現状難しいことを上司に相談したところ、大学院修了後、きらめきプロジェクトに所属させていただくこととなりました。

現在は、火・木・金の午前に九大病院勤務で所属科の外来診療や手術に携わりながら、月・水・土は義実家のクリニックで外来診療を行っています。外科専門医更新とサブスペシャリティ外科専門医取得を一時期はあきらめていましたが、きらめきプロジェクトの1年のおかげで、双方達成できそうです。

また、少し先ではありますが、クリニックの継承を予定しており、計らずもクリニックでの診療を学ぶ機会ともなりました。

出産を控え、今年度で一旦九大病院を退職しますが、キャリアをつなぎ今後の展望を広げていただいたことへの感謝を忘れず、今後も自己研鑽を積んで参りたいと思います。

